

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会 第9期事業報告書

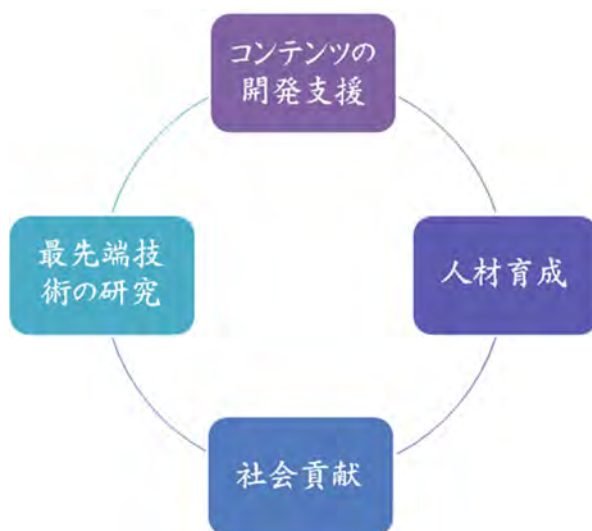
(2021年12月1日～2022年11月30日)



東京都港区港南 2-15-1
一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

1. 基本方針

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会は、最先端の表現技術の「調査」「研究」およびそれらを利活用した「コンテンツ開発」を支援することを目的に設立され、技術開発者・ユーザー・クリエイターなどの人材育成や表現技術の活用を通して社会へ貢献します。そして関連分野の枠を超えた英知を集結する事で、今までにない新しい表現方法を構築する事を目標としています。



2. 活動概要

当協会では、大きく分けて以下の4つの事業を柱とした活動を行っています。

■ 事業活動 1 普及・教育・啓蒙

表現技術検定の実施

最新技術セミナー・シンポジウム開催・協力

■ 事業活動 2 研究・開発

地域や環境に関する調査研究推進／展示会・学会への参加

羽倉賞の募集・表彰

■ 事業活動 3 宣伝・広報

会員募集／HP・メールニュース・SNS等運営

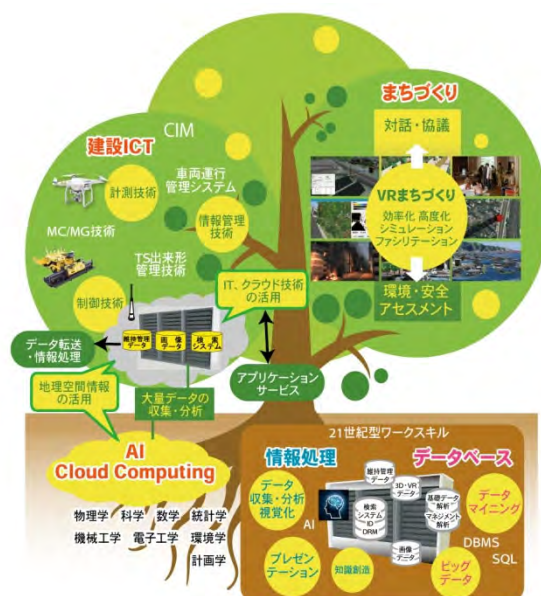
■ 事業活動 4 コンサルティング業務

最新技術を利用したプロジェクトの支援

3. 活動報告

■ 1 表現技術検定

超スマート社会実現に向けた各省庁の方針をふまえ、国交省のi-Constructionにフォーカスした「建設ICT」と、VR技術を活用したまちづくりを担う人材の育成を目的とする「まちづくり」、情報リテラシーからデータベース、統計・確率を網羅した「情報処理」の検定を実施。今年度は表技協理事の小林佳弘氏（アリゾナ州立大学）のもと、専門家の監修を迎えて新たに「クラウド-AI」検定を開講しました。また、秋季開催より参加者拡大のため、会員企業フォーラムエイトのFPBポイント景品に、表現技術検定 受講料を採用いただき、3名の利用がありました。



【クラウド-AI】

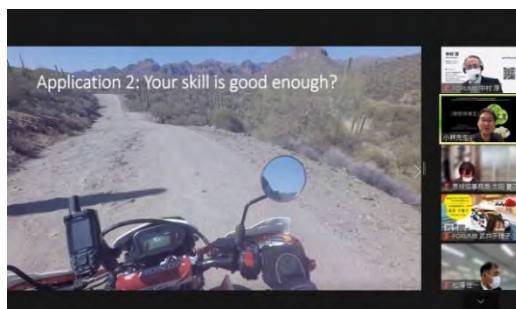
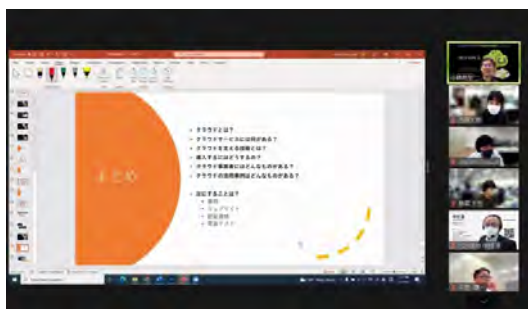
第1回 2022年 3月 8日：20名（受講料収入合計：24万円）

第2回 2022年12月 9日：5名（受講料収入合計：35,158円、FPB2名）

AI・クラウドの基本と活用事例に加えて、事業者やツール、サービスの最新情報、さらには土木・交通・都市計画など各業界に特化したクラウド・AI技術の基礎知識を学習します。IoTによるデータ取得、ビッグデータの管理・運用、AIによるデータ分析、情報の可視化といったワークフローを学び、クラウド・AI開発事業の提案や仕様書の作成等ができることを目指します。講習テキストと試験問題は、クラウドサービスおよびAI・ディープラーニング分野で活躍する専門家と表技協が監修しており、テキストは「1日で学べるクラウド-AI」として2023年度に出版予定です。

表現技術検定試験委員会委員：

- ・大石裕一（ソフトバンク株式会社 法人事業統括 クラウドエンジニアリング本部）
- ・荻野調（DeepScore株式会社 Founder & CEO）
- ・林憲一（日本ディープラーニング協会、信州大学社会基盤研究所 特任教授）
- ・小林佳弘（表技協理事、アリゾナ州立大学）
- ・川村敏郎（表技協理事、株式会社コラボ・ビジネス・コンサルティング代表取締役、元NEC代表取締役副社長）



【建設ICT】

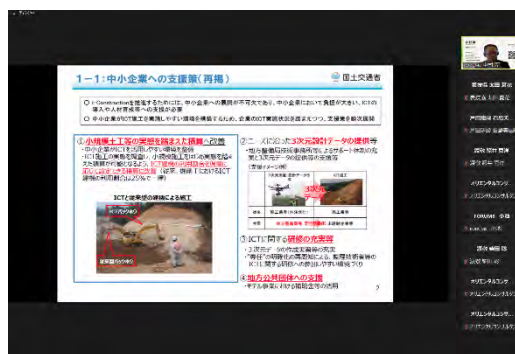
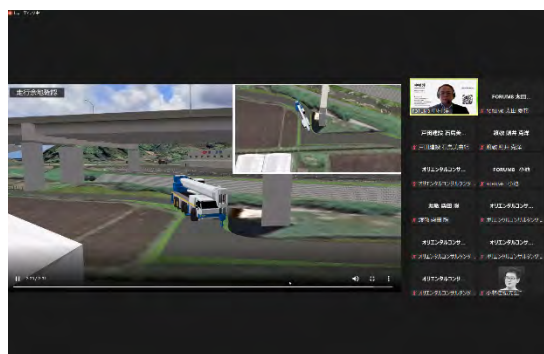
第8回 2022年 3月24日：9名（受講料収入合計：10万8000円）

第9回 2022年 8月26日：10名（受講料収入合計：12万円）

国土交通省が推進するi-Constructionをベースとして、IoTやスマートインフラ実現、情報化施工・維持管理など、当協会でも主体的に推進している3DVRの活用による効率化や高度化が大いに期待される「建設ICT」について、調査・設計・施工・維持を網羅して学びます。講習テキストと試験問題は、建設ICT分野で活躍する専門家と表技協が監修しており、テキストは「1日で学べる建設ICT」として2023年度に出版予定です。

表現技術検定試験委員会委員：

- ・朝日理登氏（世紀東急工業株式会社 常務執行役員）
- ・杉浦伸哉氏（株式会社大林組 ビジネスイノベーション推進室 担当部長）
- ・矢吹信喜氏（大阪大学大学院工学研究科 教授）



【まちづくり 入門編／応用編】

応用編 第2回 2022年 1月28日：9名（受講料収入合計：10万8000円）

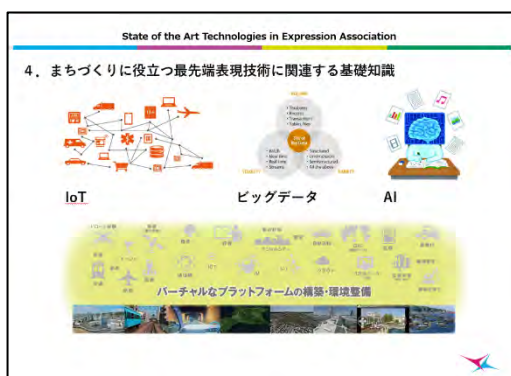
入門編 第7回 2022年 10月12日：8名（受講料収入合計：9万5400円、FPB1名）

「スーパーシティ」「自治体 DX」「Project PLATEAU（プラトー）」など、まちづくり・地域づくり分野におけるDXの取り組み例を概観します。さらに、これらに重要となる住民参加・協働型の社会的合意形成を推進するためのファシリテーションや、これらに活用できるVR技術等の実践事例を紹介し、まちづくり分野での最先端表現技術の基礎知識も学びます。

講師： 傘木 宏夫氏（NPO地域づくり工房 代表）

監修： 福田 知弘氏（大阪大学大学院 工学研究科 准教授）

家入 龍太氏（建設ITジャーナリスト）

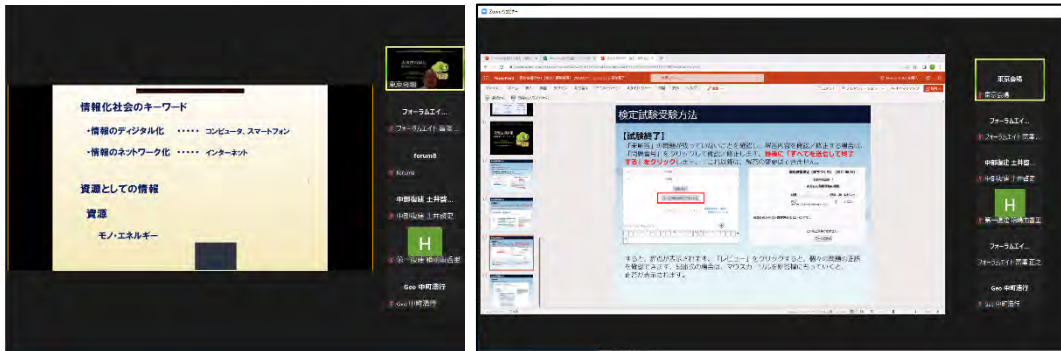


【情報処理／データベース】

第5回 2022年 4月14日：20名（受講料収入合計：24万円）

第6回 2022年 9月14日：3名（受講料収入合計：3万6000円）

DX（デジタルトランスフォーメーション）時代のビジネスに必須となる、情報を使いこなすための技能：情報リテラシー、膨大なデータを有効活用するための「データベース」の基礎からデータベース管理システム（DBMS）、さらに情報を収集、分析する手法としての統計の基礎などについて学び、Excelによる統計分析の実習を行います。テキストは「表現技術検定 情報処理 公式ガイドブック」「表現技術検定 データベース 公式ガイドブック」（著者：大同大学情報学部 非常勤講師 石河和喜）として出版されています。



■ 2 展示会・シンポジウム、イベント

・ FORUM8デザインフェスティバル2022 3Day+EVE

第8回最先端表技協・最新テクノロジーアートセッション 2022年11月18日（金）10:20-11:45

フォーラムエイト主催のデザインフェスティバル2022にて、第8回最先端表技協・最新テクノロジーアートセッションを実施し、長谷川章会長挨拶に続いて第6回羽倉賞表彰式と活動紹介を行いました。



■3 D-Kプロジェクト

(1) 北アルプス山麓 夜の景観資源開発プロジェクト

長野県「地域発：元気づくり支援金」事業助成のもと、3ヶ年での達成を目標とするプロジェクトに協力しています。北アルプス山麓の景観や既存施設を活用して「夜の景観資源」を開発することで、地域おこしに貢献し、その担い手の育成を図るものです。地元の諸事情でD-Kイベントは中止となりましたが、主催のNPO地域づくり工房様の20周年記念事業「VRでつくるこれからの大町」ワークショップに協賛しました。

主催：NPO地域づくり工房／木崎湖温泉開発
協力：最先端表現技術利用推進協会／協賛：フォーラムエイト
助成：長野県「地域発：元気づくり支援金」事業

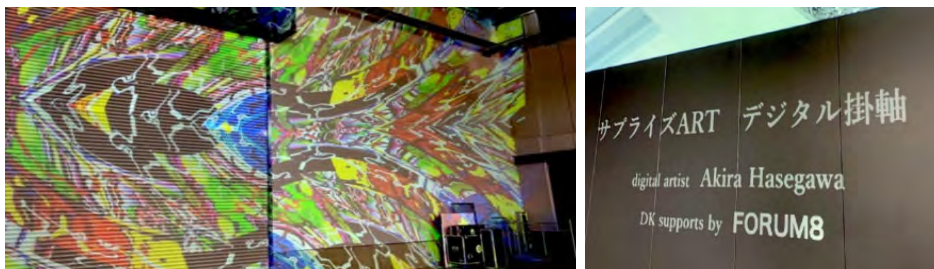
(2) DK-FORUM協力

当協会会長 長谷川章氏のプロデュース、表技協会員フォーラムエイト協力による、デジタル掛軸イベント「DKFORUM」を各地で開催しました。

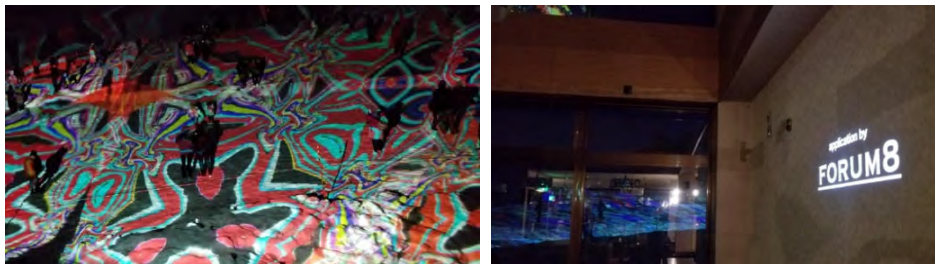
- 「日本百名月 第7回全国名月サミットin北九州」 2022年1月



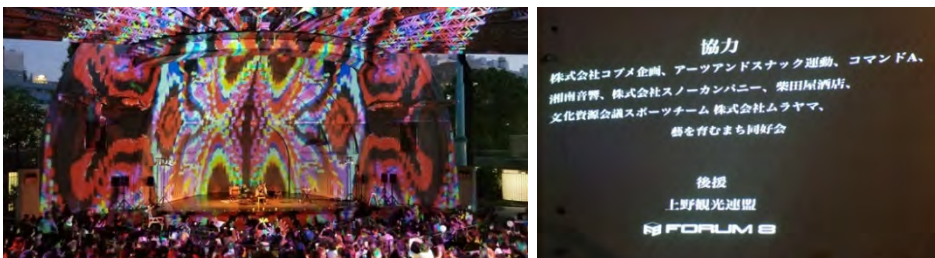
- 北陸新幹線「越前たけふ駅」開業イベント「北陸新幹線沿線グルメフェア」 2022年3月



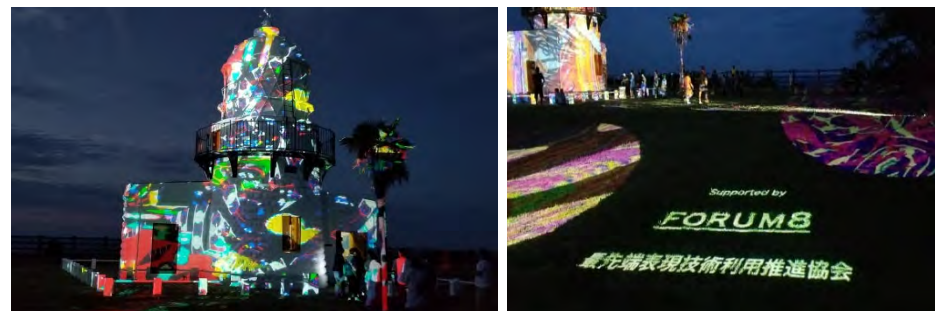
●谷川岳ロープウェイ「天空のナイトクルージング2022春」 2022年4月



●上野・仲町まつり「Peace Of Light & Peace Of Beer」 2022年5月



●能登ふるさと博 灯りでつなぐ能登半島「能登半島最先端の灯り」 2022年9月

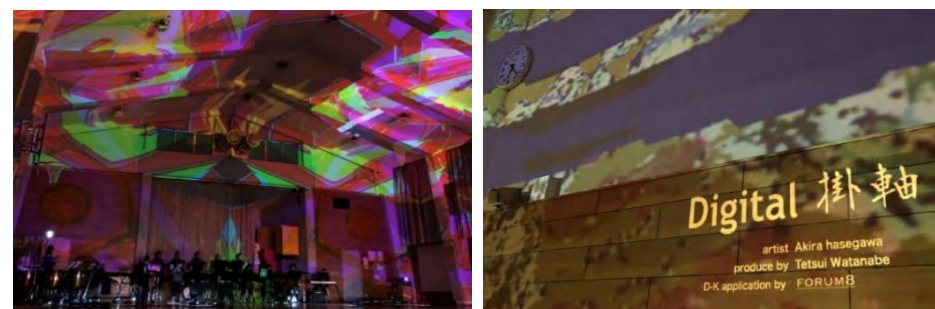


●石川県立能楽堂開館50周年記念「能楽新世界」 2022年10月

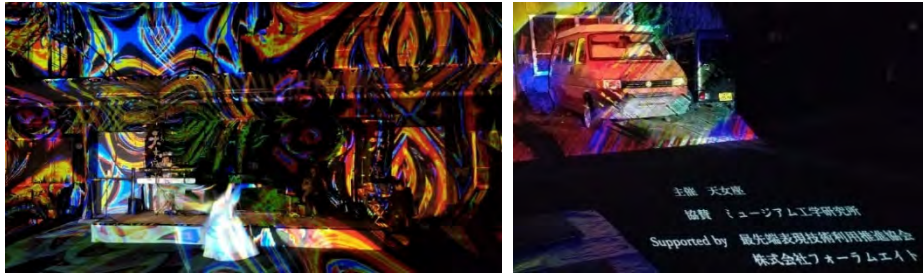


●アクティブラーニング2022 第3弾「光のアートで校舎を包もう」

藤村女子中学・高等学校校舎 × デジタル掛軸 2022年11月



●文化庁AFF認定「熊野天女座アートフェスティバル」 2022年11月



●アクティブラーニング2022 第5弾「光のアートで校舎を包もう～小学生篇」
生駒東小学校校舎 × デジタル掛軸 2022年12月



■ 4 羽倉賞

(1) 第5回羽倉賞受賞記念講演会

2022年7月4日、フォーラムエイト東京本社セミナールームにて、第5回羽倉賞受賞記念講演会を行いました。各賞受賞者より分野を問わず最先端の表現技術を活用した「作品」および「取り組み」について、昨年のデザインフェスティバルでのプレゼンテーションから、さらに深く踏み込んだ内容でお話がありました。質疑応答では「こういった使い方ができたらおもしろそう!」「イベントで一緒に何かできそう!」といった次のステップにつながる活発なやりとりがありました。長谷川会長からは「最高の技術が集まった。多岐にわたる表現、技術を組み合わせての新しい出会いがあった」と総括されました。



(2) 第6回羽倉賞審査会

2022年10月11日、第6回羽倉賞審査会を実施しました。伊藤理事長、長谷川会長、川村理事、佐藤誠先生（東京工業大学）の4名の審査員により、応募8作品の中から羽倉賞1，フォーラムエイトDKFORUM賞1，優秀賞2，奨励賞3の計7作品が選出されました。賞名は公開せずノミネート作品として公開しました。

第6回羽倉賞2022審査会			
日時：2022年10月11日（火） 14:00～16:00			
場所：フォーラムエイト東京本社 中会議室			
審査員：伊藤理事長、長谷川会長、川村理事、佐藤誠先生（東京工業大学）			
スタッフ：表技協事務局			
時間	項目	担当	内容
14:00-14:05	開始	事務局	羽倉賞審査会用pptにより審査方法について、投票用紙をベースに説明。審査得点を、先進性、社会性、独自性、創造性、技術力について10点満点で記載し、合計得点を記入
14:05-15:20	審査	事務局	1作品5分、質疑応答5分 計10分以内 8作品×10≒80分 pptによる作品説明、動画・HP等表示
15:20-15:30	審査用紙記入	各委員	各賞案検討
15:30-16:00	各賞決定	各委員	各審査結果報告および協議により各賞決定
16:00	閉会	事務局	羽倉賞審査会用PPTで今後のスケジュールを確認 ・受賞者への通知と表彰式案内、ノミネート作品公開 ・11/18（金）表彰式

(3) 第6回羽倉賞表彰式

2022年11月18日、FORUM8デザインフェスティバル2022 Day3にて第6回羽倉賞の表彰式を行いました。応募作品から、羽倉賞1、優秀賞2、奨励賞3、フォーラムエイトDKFORUM賞1の計7作品が表彰されました。



「アナモルフォーシスに基づく個人用裸眼立体視システム」

慶應義塾大学理工学部情報工学科 藤代一成研究室



推薦：情報処理学会

アナモルフォーシス（特定視点からのみ正しい投影像が得られる古典的な錯視技法）を利用し、2 枚のディスプレイモニタに Web カメラ越しに見る者の視点を追跡、リアルタイム再計算・提示することで、手軽に運動視差を誘発する立体視システムを設計した

フォーラムエイト DKFORUM 賞

「D-K AMP」 株式会社ユウプラス



推薦：最先端表現技術利用推進協会

デジタル掛け軸を、ミラーの反射により増幅し、球体を形成した画像を空間に浮かび上がらせる。イメージ生成装置として各種イベント等で、リアルな体験としての感動を人々に与え、デジタル掛け軸の医学的な知見を活かし、リラクゼーションや瞑想に利用できる

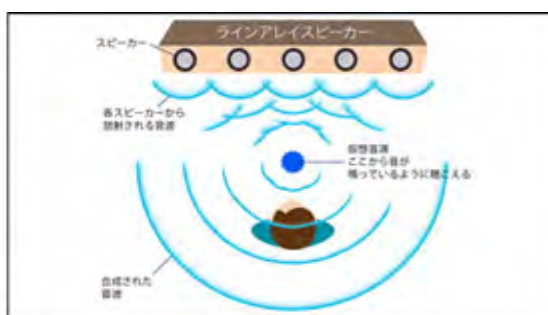
「超高臨場感通信技術 Kirari!」 NTT 株式会社 人間情報研究所



推薦：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム

東京 2020 オリンピックにおける新たな観戦体験の創造：超ワイド映像を伝送し、セーリングでは巨大な競技映像を海上に浮かべ、空間まるごとの臨場感を提供した。バドミントンでは選手映像のみを切り出し、遠隔地でホログラフィック表示し選手の存在を再現した。マラソン競技では沿道の映像で、選手に実際に応援されているような感覚を提供した。

「音が飛び出すピタゴラスイッチ」 NHK 放送技術研究所 テレビ方式研究部



推薦：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム

ラインアレイスピーカを用いた音場合成技術：複数スピーカを直線配置したラインアレイスピーカを用い、音場合成技術を応用した。スピーカ手前の音空間をターゲットとして計算される強さやタイミングで、個々のスピーカから再生して、楽器がスピーカよりも手前で鳴っていたり、移動する表現が可能となる

「“見えない”プロジェクタによる触れる動的プロジェクションマッピング」

電気通信大学 大学院情報理工学研究所 橋本研究室



推薦：最先端表現技術利用推進協会

空中立体像を用いた動的プロジェクションマッピング：プロジェクタを体験者から隠し、直接触って動かす物体に追従してその見た目を変化させる、最先端の立体映像生成技術と組み合わせた動的プロジェクションマッピングを実現した。また、再帰透過光学系による立体像の利用により、手や体で光路を遮っても影がほとんどできない

「Deepfake Video Self-modeling」

神戸大学大学院 工学研究科/ソフトバンク



推薦：情報処理学会

ダンスをマスターした自身の映像を先に見ることによるダンス学習支援：理想的な動作を行う自身の映像を見ることで効果的な行動の改善を促す「ビデオセルフモデリング」映像の作成に、深層学習による映像生成技術を用いた。プロダンサーの動作と同じ動作を行う学習者自身の映像を自動で生成し、それを見ることで学習する学習支援手法を提案した

「移動する車を用いた立体的プロジェクションマッピング」

愛知工業大学大学院 経営情報科学研究科/トヨタ紡織/NTT ドコモ



推薦：CG-ARTS 協会

車に2台のプロジェクタを設置して前方地面に映像を投影し、車の内外から映像を鑑賞する。GPSとコンパスで車の位置と方向を取得して、リアルタイムで投影映像に反映させ、地面に張り付いたような映像や、トリックアートによる立体感と移動に伴う運動視差立体視を実現した

■5 簡易アセス自主簡易アセス支援サイト運営

NPO地域づくり工房との協力により、自主簡易アセス支援サイトの「住民アセス支援ツール」として、環境アセスプラグインを開発・更新し、地域、まち作りへの表現技術利用を促進しています。

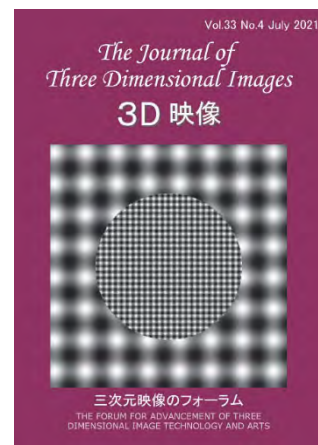
◆自主簡易アセス支援サイト<http://assessment.forum8.co.jp/assessment/php/home.php>

■ 6 会員による部会活動

(1) アカデミック部会「3Dフォーラム」

表技協では、会員による部会活動として、アカデミック部会「3Dフォーラム（三次元映像のフォーラム）」を開催しています。

当部会では、3次元映像に関する知識・技術の相互研鑽と情報交換の機会提供を目的として、各種研究会、シンポジウム、講演会、展示会、見学会などの開催および、デジタル会誌『3D映像』の不定期発行を行っています。



(2) VR推進協議会オープンセミナー

当協会の協力団体／法人会員であるVR推進協議会は、VRデータのオープン化や共通基盤作りの体制を官民学挙げて推進するため、第3回オープンセミナー（大阪）、第4回オープンセミナー（東京）を開催しました。

第3回オープンセミナー 大阪：6月15日	第4回オープンセミナー 東京：6月29日
特別講演1「万博活用戦略とDXについて」 経済産業省 近畿経済産業局 2025NEXT関西企画室長補佐 石原 康行 氏 次世代産業・情報政策課長 黒木 啓良 氏	特別講演1「国土強靱化と危機管理 -DXへの期待」 芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム 学科 教授 増田 幸宏 氏
フォーラムエイト VR/F8VPSプレゼンテーション	フォーラムエイト VR/F8VPSプレゼンテーション
特別講演2「建築・都市分野のXR・AI活用による 地方創生・国土強靱化・DX」 大阪大学大学院 工学研究科 准教授 福田 知弘 氏	特別講演2「デジタルツイン、VRシミュレーション 技術の活用とその効果」 日本大学 理工学部 土木工学科 教授 関 文夫 氏
特別講演3「テレプレゼンス&テレアブセンス； VRの未来」 MITメディアラボ 副所長 石井 裕 氏	特別講演3「テレプレゼンス&テレアブセンス； VRの未来」 MITメディアラボ 副所長 石井 裕 氏
特別対談 石井 裕 氏 × 福田 知弘 氏	特別対談 石井 裕 氏 × 関 文夫 氏
懇親会	懇親会



■ 7 宣伝・広報活動

(1) 広報・宣伝および会員募集活動

最先端技術の活用に関連のある学会・団体および会員企業等との相互協力により、イベント・セミナー告知、羽倉賞の応募・推薦などに関わる広報・宣伝活動を実施。併せて会員募集も募り、法人会員4社/団体に入会いただきました。フォーラムエイト情報誌Up&Coming「最先端表現技術利用推進協会レポート」の中で、新会員の紹介を連載しています。(No.36: TEAM IWAKIRI PRODUCTS様、No.38: CG-ARTS「公益財団法人画像情報教育振興協会」様)

また、表技協公式HPおよびSNSの公開・更新、会員・来場者向けのメールニュース配信を通して、各種告知と併せ、活動レポート紹介を継続的に行っています。公式HP更新30件、公式Facebook投稿15件、公式Twitter投稿17件、メールニュース配信6件を行いました。

また、会員メニューの改訂（個人会員価格改訂）および新サービス（表技協検定および会員企業セミナー受講優待）を実施しました。

(2) InterBEE2022出展

国際的なコンテンツビジネス展InterBEE2022の協力団体として、羽倉賞授賞式と日程が重なりますが、表技協の広報と会員拡大を目指して簡易出展しました。表技協概要、羽倉賞、表現技術検定、DKFORUM、F8VPSの紹介を行い、延べ60名ほどの来場者がありました。具体的に入会を希望される方はいませんでしたが、羽倉賞の応募に前向きな方がいました。InterBEE2022全体の来場者は、3日間で27,900名ほどで以前に比べるとまだ人出は戻っていない状況でした。

日程：2022年11月16日(水) - 11月18日(金)

場所：幕張メッセ



(3) SDGsミッションの設定

表技協では、人びとの生活に密接に関係する地域開発・まちづくり、ICT・インフラ整備等の分野において、最先端表現技術の利用を推進する人材の育成を図るために、2018年10月より「表現技術検定」を立ち上げ、「建設ICT」「まちづくり」のカテゴリを展開しています。また、最先端表現技術の活用・普及に貢献する取組みを育成する観点から、羽倉賞（2017年創設）といった顕彰事業をはじめとして、研究・研修事業を幅広く実施しています。

基礎～応用、ハード～ソフト、アナログ～デジタルなどのあらゆる領域と、都市・交通計画、環境アセス、災害対策、製造業、医療、教育、観光、娯楽、文化事業などのあらゆる分野を横断する表現技術を対象とし、社会の多様性や持続可能性と経済成長に貢献する活動を行っています。

特に、地域の文化財や自然などのリソースと最先端の表現技術を組み合わせることで新たな付加価値を生み出し、

地域活性化につながる活動を継続しており、錦帯橋プロジェクションマッピングや、当協会会長のデジタルアーティスト長谷川章氏がプロデュースするD-K（デジタル掛け軸）プロジェクトなどの実績があります。

表技協の事業は、SDGsの観点から別表「表技協の事業のSDGsにおける位置づけ」において、ターゲットの項目に位置づけられます。とりわけ、目標4（質の高い教育をみんなに）と、目標17（パートナーシップで目標を達成させよう）に大きく寄与することで、地球環境の持続可能性とそれを土台とした社会・経済の進展に波及させていきます。表技協では、今後も持続可能な社会の構築に寄与することを常に念頭において事業を進めてまいります。

▼表技協のSDGsミッション

<https://soatassoc.org/sdgs>



表技協の SDGs ミッション



ICTを活用した表現技術の取組みを広めることで、地球環境の保全をはじめ、社会・経済の持続可能性を高めることに寄与していきます。

■8 その他活動一覧

日付	活動内容	参加者
2021/12/13	12 月運営委員会	理事、評議員
2022/1/17	1 月運営委員会	理事、評議員
2022/1/17	第 15 回理事会総会	理事
2022/1/24	第 9 回定時評議員会	評議員
2022/1/28	第 2 回まちづくり応用編 検定	一般募集
2022/2/14	2 月運営委員会	理事、評議員
2022/3/8	第 1 回クラウド-AI 検定	一般募集
2022/3/14	3 月運営委員会	理事、評議員
2022/3/24	第 8 回建設 ICT 検定	一般募集
2022/4/14	第 5 回情報処理／データベース 検定	一般募集
2022/5/16	5 月運営委員会	理事、評議員
2022/6/20	6 月運営委員会	理事、評議員
2022/7/4	第 5 回羽倉賞受賞記念講演会、懇親会	会員
2022/8/26	第 9 回建設 ICT 検定	一般募集
2022/9/12	9 月運営委員会	理事、評議員
2022/9/14	第 6 回情報処理／データベース 検定	一般募集
2022/10/11	10 月運営委員会	理事、評議員
2022/10/11	第 6 回羽倉賞審査会	審査委員
2022/10/12	第 7 回まちづくり入門編 検定	一般募集
2022/11/14	11 月運営委員会	理事、評議員
2022/11/16-18	InterBEE2022 出展	一般募集
2022/11/18	第 6 回羽倉賞表彰式	一般募集

4. 当協会の概要

事務局

住所：〒108-6021 東京都港区港南 2-15-1
品川インターシティ A 棟 21F 株式会社
フォーラムエイト東京本社内

電話：03-6711-1955

FAX：03-6894-3888

E-mail：info@soatassoc.org

URL：<https://www.soatassoc.org/>



設立趣旨・目的

本協会は、以下を支援することを目的に設立されます。

- ・最先端表現技術の調査研究
- ・最先端表現技術を活用したコンテンツ開発支援

本協会は、以下を通して社会へ貢献します。

- ・最先端表現技術の技術開発者の人材育成
- ・最先端表現技術利用者（クリエイター等を含む）の人材育成
- ・そのほか新たな表現技術の活用を通じた社会貢献

本協会は、以下を通して産業と文化の融合を図ります。

- ・最先端表現技術の活用に意欲のある会員同士のマッチング
- ・最先端表現技術の活用に必要な分野を超えた企画提案

活動内容・分野

表現技術 	・3D映像(立体視) ・3DCG/VR/MR/AR ・シミュレーション ・デジタルシネマ ・デジタルサイネージ	・プロジェクションマッピング ・メディアファサード(メディアウォールなど) ・ライティング(イルミネーションなど) ・デジタルファブリケーション(3Dプリンタなど) ・メディアアート 他	表現技術の 利用分野 
要素技術 	・プロジェクタ ・4K/8K ・LED照明/LEDビジョン	・ELパネル ・各種センサー ・ロボット(ビジョン) ・CAD/CAM	・空間設計、土木、建築、都市開発 ・地域活性化 ・災害 ・防災 ・プロモーション、宣伝 ・広告、イベント ・エンターテインメント/アミューズメント ・医学、医療、福祉 ・介護 ・芸術 等
基礎技術 (科学) 	・人間科学(脳科学、心理学、生理学、医学、環境、等) ・社会科学(環境、流通・交通・通信、ロジスティクス、地理、防災、等) ・自然科学(生物、物理、数学、化学、宇宙・天体・気象、地質、等)	・3Dプリンター/3Dスキャナー ・可視化技術 ・GIS/GPSなどの位置空間情報 ・クラウド (ビッグデータ活用/共有)他	

役員

会長 長谷川 章 (株式会社コブメ企画 代表取締役社長 / 株式会社曼陀羅デジタルアートファクトリー 代表取締役社長)

理事長 伊藤 裕二 (株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長 / 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会副会長 / IT 社会推進政治連盟理事・副会長)

理事 川村 敏郎 (株式会社コラボ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役 / 株式会社フォーラムエイト 特別顧問 / 元 NEC 代表取締役副社長)

理事 小林 佳弘 (アリゾナ州立大学 プリズム研究所 / FORUM8 AZ 代表)

評議員 武井 千雅子 (株式会社フォーラムエイト 代表取締役副社長 / U-22 プログラミング・コンテスト実行委員)

評議員 岡木 勇 (株式会社フォーラムエイト 執行役員)

評議員 新田 純子 (株式会社フォーラムエイト 執行役員)

監事 松田 克巳 (株式会社フォーラムエイト 執行役員)

会員 (2022 年 12 月 2 日現在)

●法人会員：(7 社)

株式会社フォーラムエイト

一般財団法人 VR 推進協議会

株式会社リュウエンジニアリング

エンピツ舎

株式会社 TEAM IWAKIRI PRODUCTS

公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS)

株式会社ジラフ計画

●協力団体：(1 社)

超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF)

●個人会員：41 名

表技協会員サービス一覧

種別			法人会員	個人会員
年会費			120,000 円	18,000 円
サービス	HP	会員リストへのリンク掲載	●	●
		ニュースへの情報の掲載	●	●
	メーリングリスト	会員メーリングリストへの登録	●	●
		メーリングリストでの会員への情報告知	●	●
	セミナー	聴講のみ	3 人/年	1 人/年
		講演	3 回/年	1 回/年
	コンサルティング	マッチング（人、機材）	●	●
		アドバイス	3 回/年	1 回/年
	設備・機材	提供可能	●	●
		使用可能（会員価格）	●	●
部会への参加・立上げ提案			●	●

検定料・セミナー受講料優待メニュー（法人・個人会員共通）

●表現技術検定 検定料（12,000 円）

- 1 回目 無償
- 2 回目以降 3000 円 OFF

●フォーラムエイト（会員企業）セミナー受講料

ジュニア・ソフトウェア・セミナー（18,000 円）

- 1 回目 無償 ご招待
- 2 回目以降 3000 円 OFF

ジュニア・プログラミング・セミナー（9,000 円）

- 2 回目まで 無償 ご招待
- 3 回目以降 3000 円 OFF

※他有償セミナーも対象